

第8期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案に対する
パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和2年12月16日（水）から令和3年1月15日（金）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの12月15日号及び市ホームページ

3 構想案の公表方法

- (1) ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 高齢介護課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
第1章 計画策定趣旨	7	4				3
第2章 高齢者を取り巻く 現状と課題	22	4	1	9	1	7
第3章 計画の基本構想	16	2		8	1	5
第4章 施策の展開	91	12	3	31	9	36
第5章 介護サービス量等の 見込み	2	1		1		
その他全般	4	1		2		1
計	142	24	4	51	11	52

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を構想に反映したもの
 B：意見等の趣旨等は既に構想に反映されていると考えるもの
 C：今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
 D：構想に反映できないもの
 E：その他（感想、質問等）

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	第1章	4	<p>「2 計画の位置づけ」において、おそらく図は「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を取り巻く各種計画との体系図」を示していると思いますが、下記のことについて教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「障害者福祉計画、障害福祉計画」「子ども・子育て支援事業計画」が枠色付けされていますが、この横断的なつながりはありますか。 ・「秦野市総合計画」から「地域福祉計画」と「エイジフレンドリーシティ計画」、「地域福祉計画」から「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「障害者福祉計画、障害福祉計画」「子ども・子育て支援事業計画」に青下矢印が示されていますが、この矢印はどのような意味合いでしょうか。 ・「地域福祉計画」と「エイジフレンドリーシティ計画」は、連携していないのでしょうか。 ・「スポーツ推進計画」から「都市マスタープラン」までの各種計画と連携しているのは、「子ども・子育て支援事業計画」だけでしょうか。それとも「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「障害者福祉計画、障害福祉計画」「子ども・子育て支援事業計画」でしょうか。連携の青矢印の対象計画がわかりません。 ・上記の意見の関連になりますが、仮に連携の青矢印の対象計画が、「子ども・子育て支援事業計画」のみだった場合、「立地適正化計画」と「都市マスタープラン」と、どのような連携を図るのでしょうか。関連項目がわかりませんので、教えてください。 	E	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の関係機関や地域内の関係団体とのネットワーク構築に向けて、横断的な連携を取りながら取り組んでいます。 ・総合計画の全体的な方向性を踏まえ、個別計画を策定しています。 ・どちらの計画も高齢者保健福祉計画と連携しています。 ・関連計画を福祉に関する計画とそれ以外の計画とに分けて表記しています。あくまでもイメージ図であり、数多い計画の中で係わりが多いものを中心に示しています。
2	第1章	5	厚生労働省からの出典図において、「介護と育児に同時に直面する世帯（ダブルケア）等」の最後の文字が切れています。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
3	第1章	5	厚生労働省からの出典図において、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の制度の狭間として、何故、「ごみ屋敷」が挙げられるのでしょうか。教えてください。	E	厚生労働省出典の「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制」を引用したものです。「ごみ屋敷」は既存の制度による解決が困難な課題として挙げられた例となります。
4	第1章	5	「(2)「地域共生社会」の考え方」について、文頭が1文字空いていないように思います。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
5	第1章	5	厚生労働省からの出典において、下記の丸は不必要に思うのですが、何を示しているのでしょうか。	E	厚生労働省出典の「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制」を引用したものです。 図中の丸については、既存の制度による解決が困難な課題を示していると思われます。
6	第1章	6	「6 介護保険制度の改正」について、「・・・ただし、3②及び5は公布の日から・・・」とありますが、この文書内の「5」は、どこを示しているのでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
7	第1章	6	「(4) 介護人材確保及び業務効率化の取組の強化」の③について、「・・・国家試験義務付けに係る現行5年間の経過措置を・・・」とありますが、「5年間」に不必要な空白があります。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
8	第2章	9	「◆人口と高齢化比率の推移（各年度10月1日現在）」についてですが、秦野市総合計画案は人口の情報を、総人口としていますが、本計画では住民基本台帳人口を採用していますが、秦野市総合計画案に合わせないのは、どのような理由でしょうか。	E	第7期以前の計画において住民基本台帳人口を採用しており、また厚生労働省の「事業状況報告」と整合性を図るため、住民基本台帳人口としたものです。
9	第2章	9	「◆人口と高齢化比率の推移（各年度10月1日現在）」についてですが、令和元年度の高齢化率ですが、秦野市公式ホームページ内の、政策部行政経営課が公開している「人口と世帯」において、令和元年度における同情報では、29.7%となっていました。どちらが正しいのでしょうか。それともどちらとも正しいのでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
10	第2章	9	「◆人口と高齢化比率の推移（各年度10月1日現在）」についてですが、表外上に単位を表記しています。ただ、表内にもすでに単位表記していますので、いずれかは記載しなくても良いと思いますが、いかがでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
11	第2章	9	「◆人口と高齢化比率の推移（各年度10月1日現在）」についてですが、令和2年度と令和4年度の高齢化率が、全く同じであることが違和感です。必然的に、人口は減少し、それに伴って高齢者が増えているはずだと思ったからです。計算してみましたが、令和4年度は31.2%だと思いましたが、いかがでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
12	第2章	9	「◆県内市町村との高齢化率の比較」についてですが、秦野市は県内市町村と比べると、平均的な高齢化率に感じますが、この図を掲載した意図は何ですか。	E	比較対象があることで、県内市町村と比べた秦野市の高齢化率が確認できるためです。
13	第2章	11	「◆圏域別高齢者人口及び高齢化率（令和2年10月1日現在）」についてですが、市民からしたら聴きなじみのある地区別ではなく、圏域別として集計する理由を教えてください。	E	「介護保険事業計画において、地理的条件、インフラ等の社会的条件等を勘案して定める区域」である圏域別に掲載するためです。
14	第2章	12	表が白黒になっていますので、注釈がどれに該当するのか、わかりづらいです。で、カラー表記にしたほうが良いと思います。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
15	第2章	12, 13	【高齢者の現状（2）暮らしの状況】 表中の単位「n」について何を示しているか表記が必要である。	C	「n」は調査に対する回答数となります。表記については、今後の参考とさせていただきます。
16	第2章	13	表が白黒になっていますので、注釈がどれに該当するのか、わかりづらいです。で、カラー表記にしたほうが良いと思います。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
17	第2章	15	「◆今後の在宅生活の継続に向けて、介護者が不安に感じる主な介護」についてですが、「また、「問題はあるが、何とか続けていける」とする方でも、「夜間の排泄」のほか、「認知症への対応」は高くなっています。」とあります。まず、「・・・のほか、」とありますが、「認知症への対応」以外に該当する項目があれば、「・・・のほか、」と記載しても文章内容に問題はないと思いますが、もし、他に該当する項目がなく、さらに「認知症への対応」と明記しているのであれば、ここでは、「また、「問題はあるが、何とか続けていける」とする方でも、「夜間の排泄」と「認知症への対応」は高くなっています。」で良いと思います。 また、「・・・は高くなっています。」とありますが、この内容では高いことを伝えればよく、「・・・なっています。」は比較的な印象となりますので、最終的にここでは、下記のとおりとならないでしょうか。 「また、「問題はあるが、何とか続けていける」とする方でも、「夜間の排泄」と「認知症への対応」は高いです。」	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
18	第2章	20	「■生きがいがづくり、社会参加の支援」について、活動団体への補助交付数を増やしたからといって、評価されるべきではなく、その団体が適正な活動をしているかが重要だと思いますが、団体に関わっている高齢者数も入れるべきだと思いますが、いかがでしょうか。	C	適正な活動については、今までどおり実績報告等で確認してまいります。また、評価する内容については、御意見を今後の参考とし、検討いたします。
19	第2章	20	「【地域介護予防活動団体の補助交付団体数】」について、令和2年度は見込値となっていますが、これは計画が正式に策定される際も、見込値でしょうか。	E	令和2年度の値については、確定するのは年度末となりますので、計画策定時の値についても見込値となります。
20	第2章	20	「健康づくりの推進」について、点検・評価として、「・・・早期発見につなげました。」となりましたが、その改善として「・・・継続して示していくことが求められます。」とあります。	E	理解しやすい文書の作成を心がけるようにいたします。
21	第2章	21	「■地域高齢者支援センターの機能評価」について、第7期期間では、相談件数が年々増加したことについて、よくわかりました。そのうえで、地域高齢者支援センターはどのような取り組みをされて、それに対して、点検・評価されたか記載すべきだと思います。	C	国において、全国で統一して用いる評価指標が策定されており、本市においても、毎年度評価を実施し、ホームページで公表していきます。
22	第2章	21	「高齢者の相談件数」の表について、令和2年度の見込値は記載しないのでしょうか。まず、誰から求められているかを記載すべきだと思います。また、それを行うことは要望されているからではなく、必要性があるからであり、取り組みを示すことも含めた行動を継続することが重要だと思いますので、下記の文章ではいかがでしょうか。 「・・・健康な生活習慣の確立や介護予防への関心を高めるための取組を、継続していく必要があります。」	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
23	第2章	22	表が白黒になっていますので、注釈がどれに該当するのか、わかりづらいですので、カラー表記にしたほうが良いと思います。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
24	第2章	23	「(3)認知症施策の推進」について、6行目～「認知症の方やご家族に初期の段階から・・・」とありますが、この文章において丁寧語は不要かと思っておりますので、「ご家族」の「ご」は不要だと思いますが、いかがでしょうか。	A	他項目の記載に合わせて修正します。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
25	第2章	23	「(3)認知症施策の推進」について、14行目「車の両輪として・・・」とありますが、共生と予防を両輪と表現されていますが、それであれば、「車」の車体は、何を示していて、車の行き先は、どちらとして例えているのか、丁寧な説明が必要だと思いますが、いかがでしょうか。	D	「車の両輪」は慣用句として用いており、二つのうち、どちらも除くことができない密接な関係にあることのたとえです。
26	第2章	24	「■良質かつ安定的なサービス提供体制の構築」について、13行目～「若者・外国人等の新たな人材育成・確保のための・・・」とありますが、外国人の人材育成の必要性はあるのでしょうか。今回の計画案では、高齢者の外国人の分布データなどもなかったため、外国人の人材育成が必要か否かわかりません。何故、外国人の人材育成が必要な理由や客観的な意見、今回の計画に記載したロジックを聞かせてください。	E	外国人の介護職員を採用している事業者やいずれ採用したいと考えている事業者があり、外国人職員に対する定着支援が必要と感じられている事業者等の声を反映しているもので、市においても研修事業等を通して人材育成と確保をしていきたいと考えています。
27	第2章	24	「■良質かつ安定的なサービス提供体制の構築」について、14行目～「介護ロボットやICT導入による・・・」とありますが、この導入について事業所や現場従事者は、必要だと仰っているのですか。	E	介護人材が不足している状況の中、介護職員の業務効率化については喫緊の課題として捉えています。国においても介護職員の負担軽減のために、介護ロボットやICT導入が進められていく予定です。
28	第2章	25	「■事業者への適切な指定、指導管理体制の強化」について、7行目「・・・これまでの指導水準を維持していくことが求められています。」とありますが、高齢者数は今後も増え続け、事業所数が増加し、これまで以上にサービスの水準は下げず、現場の環境も理解しつつ、事業所数が増えた分、職員の働き方改革も含め、効率的な業務管理が必要になるかと思えます。そのような側面も踏まえると、指導水準を「維持」ではなく、「向上」させる必要があると思いますがいかがでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
29	第2章	26	「■施設の整備実績」について、各施設の「床」の単位を明記してください。	B	すでに記載していることを確認しました。
30	第3章	29	「1 基本理念と政策目標」について、図内の文体を統一してください。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
31	第3章	29	「(2)政策目標」について、計画案の前述で記載がありましたが、時代の変遷などで高齢者を取り巻く環境が変わっていますが、第3期計画以降、引き続き継承はしつつ、新たな政策を加えることはしないのでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
32	第3章	29	【計画の基本理念および政策目標】 基本理念の一つ目に抵抗を感じており、外して良いのではないか。 政策目標の高齢者とともに取り組むについて外して良いのではないか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
33	第3章	30	「(3)SDGs(持続可能な開発目標)との関係性」について、重点施策の1に該当するSDGsの目標として、10も該当すると思いますが、いかがでしょうか。 また併せて、重点施策の2に該当するSDGsの目標としても、10が該当すると思いますが、いかがでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
34	第3章	30	【SDGs(持続可能な開発目標)との関係性】 SDGsについては、各担当課へ質問をしているが、秦野市の視点で見ていく必要がある。具体的に掘り下げていただきたい。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
35	第3章	31	「(1)計画全体に関する成果指標」について、「認知症になっても安心な社会」の成果指標も記載するべきだと思いますが、いかがでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
36	第3章	31	「〈計画全体に関する成果指標〉」について、「②介護・支援を必要としない方の割合(第1号被保険者)」の目標値が、現状より下がっていますが、これで問題ないのでしょうか。	E	後期高齢者の割合が増えることで、介護・支援を必要とする方の割合が増えますので、現状の数値以上の目標値とすることは難しいと考えております。
37	第3章	32	「3 施策の体系」について、「基本理念」の中に「健康で歳を重ねることを・・・介護される時期を遅らせましょう。」とあります。これは、ご教示いただければ幸いです。また、「介護される時期を遅らせましょう。」の部分は、政策目標のどの部分に反映させているのでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
38	第3章	33-35	「4 重点施策」について、第7期計画の同項目も拝見させていただきましたが、表現が全く同じである箇所も見受けられましたので、第8期計画を進めるにあたって、検討が不十分であるところも感じますが、これで問題ないのでしょうか。	E	第8期計画策定に向けて検討した結果、具体的な取組については第7期から変更がありますが、重点施策等については長期的な視点で定めており、第8期での大きな変更はありません。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
39	第3章	34	「(3)健康と生きがいがづくり」について、「健康診査」は私たちのような一般人だと聞きなれないので、注釈もしくは索引をお願いします。	D	より日常に浸透した表現として、「健康診査」を略した「健診」に置き換え可能ですが、今回は現状のままとさせていただきます。
40	第3章	35	「(5)介護保険の健全運営と円滑な実施」について、文章内に「神奈川県」とある一方で「県」と表記しています。「神奈川県」だと文字量が増えますので、「県」の表記で統一してください。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
41	第3章	35	「【基本施策2】良質かつ安定的なサービス提供体制の構築」について、表内に、小規模多機能型居宅介護の整備目標時期が令和5年度となっていますが、他の施設については令和4年度から目標としているのに、小規模多機能型居宅介護は令和5年度と1年遅らせているのでしょうか。	E	お見込みのとおりです。
42	第3章	36	「(1)圏域設定理由」について、秦野市ホームページで公開している、政策部行政経営課の「人口と世帯」だと、本町圏域に下落合がないのですが、本計画案では、何故、あえて、下落合を本町圏域に入れているのでしょうか。	E	圏域は、原則、各地域高齢者支援センターの担当している地域に対応しています。下落合は本町地域高齢者支援センターの担当です。
43	第3章	36	渋沢圏域内析産の後の、読点は不要です。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
44	第3章	37	「(2)圏域別データ」について、この数値は「人口と世帯」と異なるものではないでしょうか。	E	お見込みのとおりです。
45	第3章	37	ページ下図の中の黒丸が見えづらいので、図自体を大きくしたらどうでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
46	第4章	43	表「No.1(1)ア」について、6行目「・・・新たな施策の検討を行う・・・」とありますが、今後、新たな施策が検討され実現されることになれば、本計画も適宜、改正されるということでしょうか。	E	地域ケア会議には、地域に必要な取組を明らかにし、政策を立案・提言していく機能があります。 新たな施策が必要となった場合は、次期介護保険事業計画に位置付けられていくものです。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
47	第4章	43	<p>「【地域ケア会議の総開催回数】」について、実績値で令和2年度は昨年度から20回も減少していますが、これは新型コロナウイルスの影響でしょうか。もし、それ以外の理由であれば、何故、開催数が減ったのかご教示ください。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響で開催数が減少したのであれば、テレビ会議などの措置はできなかったのでしょうか。できなかったのであれば、今後、オンライン会議の環境を整える必要等があると思います。現在も、新型コロナウイルスが猛威を振るっており、変異種が出てきて、人間の対応が追い付かないところまで来ております。その中でも、着実に取り組みを前に進めるためにも、新しい生活様式のための環境整備について、記載するべきだと思います。</p> <p>もし、その環境整備ができないのであれば、目標値について170回/年は困難かと思しますので、下方修正した方が良くと思いますがいかがでしょうか。</p>	C	<p>ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響となります。</p> <p>オンライン会議等の措置については、秦野市の環境整備だけの問題ではありませんので、今後、各関係機関に対してどのような支援等ができるか検討する必要があると考えられます。</p> <p>実際の開催回数については、感染症の状況等に左右されますが、目標値としては感染が収束した場合の最大値を採用しています。</p>
48	第4章	44	<p>「①地域課題検討型の地域ケア会議」について、2行目は改行されていると思しますので、1行目と文頭を揃えてください。</p>	D	改行ではありませんので、現状のとおりとします。
49	第4章	45	<p>「No.1(1)イ」も含めて、同一事項は「〇〇に掲載」としていますが、であれば41ページから42ページの目次にも、同一内容が記載されているので、そこにも横書きすべきだと思いますが、いかがでしょうか。</p>	D	記載は必要ないと考えますので、現状のとおりとします。
50	第4章	45	<p>「No.1(1)エ」についてですが、地域に不足する資源の開発とありますが、現時点で何が不足しているため、記載していると思います。現時点で、どんな資源が不足していますか。</p>	E	交通手段や通いの場など地域において異なり、多岐にわたるため、「地域に不足する資源」としました。
51	第4章	46	<p>【複合的な支援ニーズに応えるための包括支援体制整備】</p> <p>地域福祉計画及び高齢者福祉計画に掲載している包括支援体制整備については、地域共生推進課と十分な連携を図り、支援体制の強化となるよう地域共生支援センターと高齢者支援センター等の相談支援機関が十分な連携が図れるよう整備されたい。</p>	C	そのように進めてまいります。
52	第4章	46	<p>「【複合的な地域生活課題の解決に向けた支援体制のイメージ】」について、「子ども・子育て」の「教育指導課」の文字が小さいです。</p>	E	図中に添えてあるコメントにあるとおり、見やすい内容に差し替え予定です。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
53	第4章	47	「No.1(2)イ」について、秦野市相談支援包括推進会議の体系図がありますが、まず、会議は市役所の部署のみの参加なのでしょうか。オブザーバーとして、民間事業者は入らなくて良いのでしょうか。次にワーキング部会とありますが、ここはどんなことをするのでしょうか。	E	「秦野市相談支援包括推進会議」は、市の関係課で構成する組織ですが、必要があると認めるときは、構成員以外の者を出席させることができます。また、「ワーキング部会」は、具体的なサービスの提供や支援について関係機関と検討等を行うものです。
54	第4章	48	地域共生社会推進拠点の設置についてですが、これから設置する拠点であれば、令和2年度については、精査中の表示ではなく、該当なしの棒線の記載であると思いますが、いかがでしょうか。もし、令和2年度に設置していることであれば、文章内の言葉の使い方が不適切なので修正するべきだと思います。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
55	第4章	49	図「■在宅医療・介護連携の体制」について、「総合相談窓口」はどこになるのでしょうか。この図だと、市とは別組織みたいなので、ご教示ください。	E	本市では現在、地域高齢者支援センターや訪問看護ステーションなど、市内の在宅医療・介護連携を支援する様々な機関で相談を受けられる体制となっています。今後もよりスムーズな関係機関等との連携調整や情報共有ができる相談窓口設置について検討します。
56	第4章	49	図「■在宅医療・介護連携の体制」について、右下のピンクの家は、何として示しているのでしょうか。	E	図中に記載のある「訪問看護等」を提供する、訪問看護事業所、薬局等になります。
57	第4章	49	【在宅医療、介護連携等の充実】 身体状況や経済状況の変化や家族構成が変わった場合等、生活していく中で困った時に、即相談等が出来る総合相談窓口の設置を整備されたい。 市民が安心できる相談窓口での対応に努めるとともに、迅速な解決等に向け各支援機関のスムーズな連携や体制の構築をお願いしたい。 また、総合相談窓口等を設置する場合には、わかりやすい案内や周知をお願いしたい。相談内容によって担当の振り分け等を行い、しっかり対応できるようお願いしたい。	C	そのように進めてまいります。
58	第4章	49, 50	【在宅医療と介護連携等の充実】 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、最期まで住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療と介護関係者のより一層の連携強化を図っていただきたい。 総合相談窓口の設置をするということであるが、市民にわかりやすい相談窓口とするとともに、市民に向け十分な周知を行っていただきたい。	C	そのように進めてまいります。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
59	第4章	49, 90-93	【在宅介護・介護連携の推進、サービスの提供体制の整備】 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によれば、介護が必要となった時に自宅での介護を希望されている方が68%となっているということであり、今後高齢者の増加等に伴い、訪問看護などの在宅支援の整備が益々求められてくる状況と考えられるため、計画的に介護サービスの整備を進めていただくとともに、医療と介護の一体的な利用を希望する高齢者が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、関係機関との情報共有や医療・介護の連携強化を推進されたい。	C	そのように進めてまいります。
60	第4章	51	「No.1(3)キ」について、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民向けの講演会などの開催が困難だったと思います。ただ、来年度以降もさらなる感染のリスクもありますし、新型コロナウイルスが出てくるかもしれません。その中で、開催するためには、ウイルス対策として、WEB会議の実施などの対策を講じる必要があると思いますので、その旨を記載すべきだと思いますが、いかがでしょうか。	D	必要に応じてオンラインによる講演会を開催します。 WEB会議等については、第8期計画としてだけでなく、市役所全体で推進する内容のため、記載していません。
61	第4章	52	「No.1(4)ア」について、5行目「～地域活動への支援や資源開発に向けて取り組みます。」とありますが、資源開発だと所管が高齢介護課のみだと、困難なところもあるように感じますが、他部署も所管としなくてよろしいのでしょうか。	E	不足する地域資源によりますが、現時点で特定できませんので高齢介護課としています。必要に応じて関係部署と連携して取り組みます。
62	第4章	52	「No.1(4)ウ」について、「キャラバン・メイト」とは何でしょうか。注釈もしくは索引に入れてください。	E	「キャラバン・メイト」とは、文中にあるとおり、「認知症になっても住み慣れた地域で生活することができるまちを目指して、認知症サポーター養成講座の講師及び地域での見守り支援者」となる方を指します。
63	第4章	53	「No.1(4)エ」について、令和2年度が300世帯で次年度の目標を900世帯にしているが、1年間で600世帯も増やせる見込みがあるのか、過去の実績値から見ても、甚だ疑問に思います。また、令和4年度以降は、令和3年度の900世帯から激減し、300世帯を目標値としていますが、この数値にした理由を教えてください。さらに、令和4年度から令和5年度まで、数値を増加させない理由も併せて教えてください。	E	平成29年度に実施した一斉調査時の実績を参考に見込みました。 (一斉調査実施年度は、新規登録世帯数が増加します。) 令和2年度前半に実施予定だった一斉調査については、感染症の影響があり、令和2年度及び3年度にかけての訪問調査に変更しています。 数値については現時点での実績を踏まえ、令和3年度も含めて再推計します。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
64	第4章	53	「No.1(4)オ」について、「延利用」とありますが、聞きなれない言葉です。「延長利用」とは、意味が違うのでしょうか。	E	延べ利用のことです。送り仮名の付け方に従い、送り仮名を省いています。
65	第4章	53	「No.1(4)オ」について、「【給食サービス利用者数と延利用件数】」で今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったにも関わらず、昨年度から77人/3,054件も増えています。ただ、目標値は、それに比べてずいぶん、消極的な増加しか見込んでいないのですが、どういった理由でしょうか。	E	当該事業は、感染症の影響で外出が減ったことにより、結果的に利用者数が増えた可能性があります。目標値については、例年の増加傾向や推計時の状況により算出しました。
66	第4章	53	「1(4)オ」について、「【緊急通報システム利用者数】」で、平成30年度から令和元年度は90人増加、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったにも関わらず、昨年度から80人も増えています。しかし、目標値は増加数が、実績と比較すると少ないように感じますが、どのような理由でこの目標値を設定したのでしょうか。	E	当該事業は、自宅内での緊急時の対応をする内容であり、感染症の影響はありません。目標値については、例年の増加傾向や推計時の状況により算出しました。
67	第4章	54	「③見守りキーホルダーの交付」について、「【福祉タクシー券を交付した寝たきり登録者数】」では目標値でなくても、見込値を記載しても良いのではと思いますが、いかがでしょうか。	D	令和3年度以降の数値は、目標値として統一していますので、現状のままとします。
68	第4章	54	「No.1(4)カ」について、3行目「更なる」とありますが、他の文章と統一して、「さらなる」とした方が良いと思います。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
69	第4章	54	「No.1(4)カ」について、「【収集世帯数】」では目標値でなくても、見込値を記載しても良いのではと思いますが、いかがでしょうか。	D	令和3年度以降の数値は、目標値として統一していますので、現状のままとします。
70	第4章	55	「No.1(4)キ」について、県営住宅アメニティ名古木に係る内容ですので、県と連携する旨の文言を入れた方が良いと思いますが、いかがでしょうか。	D	県と連携している事業ではありませんので、文言は入れる予定はありません。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
71	第4章	55	「No.1(4)ク」について、「・・・引き続き、協議・指導・助言をします。」とありますが、誰とどのような場で協議をするのでしょうか。	E	誰もが安心して、快適に暮らせるまちづくりを進めるために、一定の規模・用途の建築物の新築等を行う際に、建築主等は法律に基づく整備や条例に基づく協議をする必要があります。その際に提出された関係図書を用いて協議を行い、現場完成後に、現場確認を行っています。
72	第4章	56	「No.1(4)サ」について、これについては前期計画も含めて今までも検討されたと思うのですが、未だ解決できない事項とは、どのようなことでしょうか。	E	高齢者の外出支援に関する課題は、内容も課題として表面化する時期も地域によって様々です。1つのことを実施して終了するものではないと考えます。
73	第4章	57	「【年間犯罪発生件数】」について、この数値は高齢者に限っているものでしょうか。もし、限定していないのであれば、高齢者に限った数値を記載すべきだと思いますが、いかがでしょうか。	C	「年間犯罪発生件数」は警察署からの情報提供によるデータを使用していますが、年代ごとの集計はされていないため、全体の数値を記載しています。
74	第4章	57	「【防犯研修会の開催回数と参加者数】」と「【交通安全教室の開催回数と参加者数】」のどちらについても思ったことです。令和元年度から令和2年度に掛けて数値が下がっているのは、新型コロナウイルス感染症の影響だと思います。その中で、来年度の目標値は、令和2年度の数倍としています。未だ、落ち着く様子が見られない社会情勢ですが、どのようなロジックを組み立てて、この目標値としたのでしょうか。	E	実際の開催回数については、感染症の状況等に左右されますが、目標値としては感染が収束した場合の最大値を採用しています。
75	第4章	58	「No.1(5)ア」について、「【本人、家族、地域、関係者機関向けの広報・研修会の実施回数】」で、会の回数も大事ですが、その参加者数も重要ですので、参加者数についても明示すべきだと思いますが、いかがでしょうか。	C	人数よりは、本人、家族、支援機関等の対象者に合わせた研修内容とすることで、充実を図りたいと考えています。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
76	第4章	59	「No.1(5)エ」について、「【介護者のつどいの実施回数と延参加者数】」と「【介護講座の実施回数と延参加者数】」で、平成30年度から令和元年度に数値が下がっていますが、これはどのような理由でしょうか。このような理由を整理することも大事なことだと思います。	E	介護者のつどいは開催回数ではなく内容と質を重視していくため、目標値を定めることが適切ではないと考えられますので削除します。
77	第4章	60	「No.1(5)オ」について、家族介護慰労金のこれまでの交付実績と交付目標はないのでしょうか。	E	件数等の目標を定めることが適切な事業ではありませんので、表記しておりません。
78	第4章	61	「No.1(6)ア」について、「【防災講習会の実施回数と参加者数】」と「【避難行動要支援者名簿更新・配布回数】」で、令和3年度以降の目標値を上げず、推移させるのは何故でしょうか。実施回数や配布回数は、努力次第で増やすことはできないのでしょうか。	C	防災講習会の実施回数及び参加者数については、できる限り多くの市民が災害に対して危機意識も持っていただけるよう、講習会の充実強化に努めてまいります。 自治会長や民生委員等に提供している避難行動要支援者名簿は、個人情報細かく記載されていることから、適切な管理が必要となります。 名簿を管理する方の負担軽減又は個人情報の適切な管理等を目的に年2回の更新としていますが、災害実情等も踏まえて検討してまいります。
79	第4章	61	【災害・感染症に係る支援体制の整備】 新型コロナウイルス等の感染症対策を含む災害対策について、今後、重点的に強化を図るべきである。特に、災害時に支援を要する高齢者の避難体制については、防災課や関係機関等との連携により、災害が起きた時にスムーズな避難につなげられるよう、一刻も早い支援体制の整備を図られたい。	C	避難に時間を要する高齢者や自力避難が困難な避難行動要支援者が安全かつ確実な避難行動がとれるよう、福祉部と調整して支援体制強化に取り組んでまいります。
80	第4章	61	【災害・感染症に係る支援体制の整備】 新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた防災対策が重要となっている。避難行動要支援者名簿の効果的な活用や災害時に備えた連携体制の強化をお願いしたい。	C	避難行動要支援者名簿は、自治会長や民生委員、消防、福祉部等に配付し、災害時の情報連携に役立っています。 今後も新型コロナウイルスによる感染防止対策や避難所での連携方法など感染を防止しながら効果的な避難行動がとれるよう、更なる連携強化に努めてまいります。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
81	第4章	61, 62 など	<p>【災害・感染症に係る支援体制の整備について】 防災対策の推進に当たり、防災講習会の実施回数と参加者は、平成30年度から今年度まで減り続けているが、異常気象による大災害等が発生している昨今において、しっかり実施をしていただきたい。 また、避難行動要支援者の名簿の更新・配付は年2回となっているが、亡くなった方や入院している方などが含まれていることが考えられる。管理方法等を再検討していただきたい。 避難行動要支援者避難支援計画は作成しているということであるが、管理方法等についてしっかり検討をし、実際災害が起きたときに活かせるようお願いしたい。</p>	C	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大等により、実施回数が減となりましたが、近年、激甚化また頻発化している自然災害に市民が適切な避難行動をとれるよう、災害実情に応じた講習会を開催してまいります。 また、避難行動要支援者名簿は、福祉部と連携しながら年2回更新しています。 対象者の見直し後に亡くなった方や入院する方などもあることから、提供後に自治会長や民生委員等の見回り結果なども踏まえ、常に最新の状態で活用できるよう名簿管理に努めていくとともに、災害時は福祉部で構成する「要配慮者支援班」と連携して、名簿掲載者の確実な避難行動支援に努めてまいります。</p>
82	第4章	62	<p>「③家具転倒防止対策」について、「【家具転倒防止対策実施回数】」で、令和元年度の実施回数が1回のみとなっていますが、この理由は何でしょうか。ご教示ください。</p>	C	<p>本対策は避難行動要支援者（災害時に自力で避難することが困難な方）名簿に登録されている方からの支援要望に基づき、対応しています。 今年度からは名簿登録者以外にもひとり暮らし高齢者や高齢世帯で家具転倒防止対策を講じることができない世帯にも支援できるよう拡充したことから、あらゆる機会を活用して啓発に取り組んでまいります。</p>
83	第4章	62	<p>「No.1（6）イ」について、毎年の防災訓練のために、対高齢者専用の訓練メニューを作成していただいて、訓練を行った方が良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>	B	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対人訓練の実施は難しい状況でしたが、地域高齢者支援センター及び介護サービス事業者の協力のもと、高齢者の災害時の事前準備や避難行動状況を把握し、有事の際に対応できるようにシミュレーション訓練について実施しました。 今後も継続的に関係機関との訓練を実施します。</p>
84	第4章	62	<p>「No.1（6）ウ」について、周知啓発や研修等の目標値は設定しないのでしょうか。</p>	E	<p>感染症に関する研修会や周知啓発については、国及び県でも実施しているので、市として目標値は設定しておりません。</p>

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他（感想、質問等）

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
85	第4章	63-69	【認知症施策の推進】 認知症の方が増えている中で、認知症に関する正しい知識と理解を深めることが必要となっており、世界アルツハイマーデーにおける啓発活動等を初めとする普及啓発の強化をお願いしたい。また、認知症サポーターや認知症カフェの取り組みについて、引き続き推進されたい。	B	世界アルツハイマーデー及び世界アルツハイマー月間の機会を活用し、そのように進めていきます。
86	第4章	64	「施策の方向性」について、「・・・2018年に全国で500万人を超え・・・」とありますが、秦野市では何人いるか記載すべきだと思いますが、いかがでしょうか。	D	認知症の症状があるすべての人が、認知症の診断を受けているものではなく、市内における実人数を出すことができませんので、掲載していません。
87	第4章	64～	【認知症施策の推進】 認知症の方が増えていく中で、認知症に関する普及啓発が重要である。世界アルツハイマーデーにおける啓発活動等を実施するとあるが、認知症への正しい理解を進める機会を増やす取り組みをしていただきたい。周囲が認知症を疑ったときは、早期に適切な医療・介護につなげられるよう支援に努められたい。	B	世界アルツハイマー月間に合わせて認知症関係の講座を開催し、市民が認知症への正しい理解を進める機会を増やしていきます。 早期に適切な医療・介護等につなげられる支援としては、認知症初期集中支援推進事業を活用していきます。
88	第4章	65	「No.2(1)エ」について、世界アルツハイマーデー及び世界アルツハイマー月間はいつでしょうか。	A	国際アルツハイマー病協会と世界保健機関は、1994年から毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と定めています。注釈等を入れるよう修正します。
89	第4章	65	【世界アルツハイマーデーにおける啓発活動】 普及啓発活動として、認知症パネル展等を具体的に行っているということであるが具体的に啓発活動について、予定されているものについては記載を求めたい。 また、市民が認知症の人への正しい関わり方についての普及啓発を積極的に進めていただきたい。	C	具体的な取組については、連携する機関と毎年調整及び検討していきます。なお、内容についてはSNS等を活用し積極的に広報することを考えています。 認知症の人への正しい関わり方については、認知症サポーター養成講座等で、引き続き普及啓発を行っていきます。
90	第4章	65	【認知症サポーター養成講座の開催】 認知症サポーター養成延べ人数について、コロナ禍において2千人ずつ増やしていくのは難しいのではないかと。小中学生に対しての認知症サポーター講座を増やしてはどうか。教育委員会と連携し実施していくことを提案する。	C	認知症サポーター養成延べ人数については、感染症の状況等に左右されますが、目標値としては感染が収束した場合の最大値を採用しています。いただいたご意見を参考に、感染症対策を実施しながら、学校や職域での講座を更に推進し目標達成に努める方針です。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
91	第4章	66	「No.2(2)ア」について、まだ新型コロナウイルス感染症が落ち着かない、この社会情勢で、令和3年度において、150回/1,500人の実施は、少し現実的ではないように感じますが、いかがでしょうか。	E	実際の開催回数等については、感染症の状況等に左右されますが、目標値としては感染が収束した場合の最大値を採用しています。
92	第4章	67	「No.2(2)イ」について、認知症カフェ団体数の位置図を記載したらどうでしょうか。	D	認知症カフェにつきましては実施状況の変動がありますので、毎年更新している秦野市認知症ガイドブック等に掲載しています。
93	第4章	68	「No.2(3)イ」について、「【認知症初期集中支援チーム支援件数】」で、令和2年度以降、件数が変わっていませんが、増加させなくても良いのでしょうか。	E	地域高齢者支援センター7か所からの年間5事例の提出を目標値としています。合わせて、早期に本人や家族が受診できる環境を整えていく方針です。
94	第4章	69	【認知症の方々が行方不明となった場合の対応について】 防災無線での検索や、迷い高齢者等のSOSネットワーク事業が行われているようであるが、迷い高齢者を見つけた時の対応の仕方等について、市民の方々への周知を進めていただきたい。	C	迷い高齢者を見つけた時の対応については、認知症サポーター養成講座等で学ぶ機会を設けています。講座の拡充に努め、認知症の方やそのご家族が地域で安心して生活できるように取組んでまいります。
95	第4章	70	【健康と生きがいづくり】 高齢者の活躍の場を広げてもらいたい。生きがいづくりに繋がる、高齢者に向けた心遣いとなる施策を進めて貰いたい。	C	地域での介護予防の担い手養成、趣味や特技を通じた地域社会との交流や就労につなげる取組など、いつまでも元気で楽しく生活することができる社会の形成を目指します。
96	第4章	71	「No.3(1)ウ」について、「【老人クラブの数と会員数】」で、平成30年度から令和2年度まで減少した理由が、特段の魅力がないため、第8期計画では新しい魅力づくりを進めるということでしょうか。	E	健康寿命の延伸等に資する老人クラブについて周知し、新規会員の増加に努めます。
97	第4章	71	「No.3(1)エ」について、ふれあい農園やシルバーカルチャースクールの活動クラブ数などの実績値や目標値は記載しないのでしょうか。	E	ふれあい農園やシルバーカルチャースクールは秦野市老人クラブ連合会に委託をしているものであり、実績を表す数値がないため、記載をしていません。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
98	第4章	71-85	【健康と生きがいがづくり、生涯現役促進地域連携事業の実施】 人生100年時代を見据え、市民一人ひとりの生きがいがづくりや健康寿命の延伸のために、介護予防等の施策を行うとともに、働く意欲のある高齢者の就業促進に努められたい。	C	そのように進めてまいります。
99	第4章	73	「No.3(1)オ」について、【開催回数と延参加者数】で、令和2年度については見込値なので、精査中でなくても現時点の値でも問題なかったと思いますが、いかがでしょうか。また、令和3年度以降の目標値を増やすことはできないのでしょうか。	E	他の取組が見込値であるのに対して、この取組だけ現時点の値だと、誤解を招きかねないと考えました。 目標値については、近年の状況を鑑みて現実的な数値を設定しました。
100	第4章	73	「②広畑ふれあい塾の開催」について、広畑ふれあい塾の開催数の実績値と目標値を記載すべきだと思いますが、いかがでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
101	第4章	73	「③出前講座の実施」について、令和3年度以降の目標値に、単位を記載してください。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
102	第4章	74	「No.3(1)カ」について、「【地域敬老会の対象者数と出席者数】」で、令和2年度の出席者が0人でしたが、令和3年度以降、記載している出席者数まで増やせるのでしょうか。	E	実際の出席者については、感染症の状況等に左右されますが、目標値としては感染が収束した場合の最大値を採用しています。
103	第4章	74	「No.3(1)キ」について、「【はだの市民活動団体連絡協議会の加盟団体数】」で、令和3年度以降の目標値を増やさなくて良いのでしょうか。	E	近年の状況を鑑み、令和4年度以降は加盟団体数の維持を目標としました。
104	第4章	75	「No.3(1)ク」について、「①認定ヘルパー養成研修」の【研修開催回数】で、令和3年度以降は年に1回となっていますが、年2回はできないのでしょうか。	E	平成28年度から開催した認定ヘルパー研修は、令和元年度まで毎年度3回実施しており、修了者数は令和2年度時点で400名に達しております。そのため、研修参加者は年々減少傾向にあり、令和元年度には各回の参加者が募集定員を大きく下回りました。また、令和2年度から生活援助従事者研修を実施することとしましたので、年1回の開催としました。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
105	第4章	75	「No.3(1)ク」について、「②地域支えあい型認定ドライバー養成研修」の【研修開催回数】で、平成30年度からの実績値が全く増えていない中で、その現状を踏まえて、令和3年度以降の目標値を増やさなくて良いのでしょうか。	C	認定ドライバー養成研修は平成28年度から実施し、修了者数も100名を超えています。今後は修了者へのフォローアップを充実させていく必要があることから、養成研修の開催は毎年2回を維持していくこととしました。
106	第4章	75	「No.3(1)ケ」について、「【シルバー人材センターの会員数】」で、令和3年度以降の目標値を増やさなくて良いのでしょうか。	E	高齢者人口の増加が見込まれていますが、高齢者が活躍できる環境の整備を目的として、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」（高齢者雇用安定法）の一部が改正され、令和3年4月1日から施行されるに当たり、定年年齢が引き上げられることが予測されることから、定員数については維持としました。
107	第4章	76	「No.3(1)サ」について、7行目「高齢者」とありますが、「高齢者」とは違うのでしょうか。	E	文中にあるとおり、55歳以上の方が高齢者と定義されています。高齢者は65歳以上の方です。
108	第4章	76	「秦野市生涯現役促進地域連携事業推進協議会の構成（イメージ図）」について、秦野市生涯現役促進地域連携事業推進協議会は、厚生労働省・県労働局・松田公共職業安定所から委託されているとありますが、どんなことを委託されて、それに対して、協議会はどんなことを協議し、連携や助言をしているのでしょうか。その内容が文章化されていないので、もっと丁寧に記載して、図と文章内容を繋げるようにしてください。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
109	第4章	76	【高齢者の就業促進について】 高齢者を55歳以上としているが、対象年齢の記載について55歳は若いため、上の水準で書くべきではないか。	D	高齢者等の雇用の安定等に関する法律の厚生労働省令で定める年齢は、55歳と定義されております。実際の就業促進の中心としては65歳以上の方（高齢者）を想定しております。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
110	第4章	77	「No.3(1)シ」について、「【特定健康診査の受診率】」で、令和2年度から令和3年度までの増加率が現実的ではないような気がしますが、可能でしょうか。	C	平成30年度に策定した「第3期特定健康診査等実施計画」において、目標値を平成30年度35%から毎年度1%増加の見込みで設定しており、本計画にも同数値を反映しております。確実な目標達成は厳しい現状ですが、その他計画等との整合性を図るため数値の見直しはせず、引き続き受診勧奨等を工夫することで目標達成を目指します。 なお、同計画は令和5年度に見直しを予定しています。
111	第4章	77	「No.3(1)ス」について、普及啓発の開催数の実績値や目標値は、記載しないのでしょうか。	E	よりよい生活習慣の確立に向けた普及啓発としては、産学公民の連携による健康教育や未病センター等を活用した健康相談の実施、地域資源を活用したイベントの開催、PTA向けの出張講座、SNSを活用した情報発信やリーフレットの配布等、多岐に渡るため、健康増進計画（健康はだの21）にて個別に目標値を掲げ、進捗を管理しています。
112	第4章	77	「No.3(1)セ」について、「【女性のがん検診受診率】」で、令和2年度から令和3年度までの増加率が現実的でないような気がしますが、可能でしょうか。	E	がん検診の受診率は、国が受診率50%を目標に掲げています。本市においても、この受診率を目指し努力していることから、現在はまだ職域などが受診率の算出に加味されていない部分もありますが、国と同じ50%を掲げています。受診率の目標値については、健康増進計画の改定に合わせ、国の考え方を踏まえて整理していきます。
113	第4章	78	「No.3(1)ソ」について、「体操会」とは何でしょうか。注釈もしくは索引の記載をお願いします。	A	いただいた御意見を参考に、次の注釈を記載します。 ※体操普及ボランティア（さわやかマスター）が主体となって運営し、自由に参加できる地域の体操会（丹沢あおぞら体操会、ご近所体操会など）
114	第4章	78	「No.3(1)タ」について、「いきがい」を「生きがい」に修正してください。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
115	第4章	78	「No.3(1)タ」について、「また「ねんりんピックかながわ2022」の開催を通じて・・・」とありますが、来年度から大会に向けた機運を高めるべきですので、表示としては、「また、「ねんりんピックかながわ2022」の開催を契機に・・・」の方が良いと思いますが、いかがでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
116	第4章	78	「No.3(1)チ」について、「【広畑ふれあいプラザの利用件数と延利用者数】」で、令和3年度以降の目標値を増やさなくて良いのでしょうか。	E	近年の利用状況を鑑み、利用件数等の維持を目標としました。
117	第4章	78	【高齢者のスポーツ・レクリエーション機会の充実】 スポーツについて、スポーツの種類を具体的に明示してはどうか。	A	実施する事業や競技種目等を記載しました。
118	第4章	79	「②末広ふれあいセンター」について、「【末広ふれあいセンターの利用件数と延利用者数】」で、令和3年度以降の目標値を増やさなくて良いのでしょうか。	E	近年の利用状況を鑑み、利用件数等の維持を目標としました。
119	第4章	81	「■施策の方向性」について、5行目「・・・健康寿命の延伸につなげます。」とありますが、「主な取組」の内容に反映されているか、わかりませんでした。どちらに記載されているのでしょうか。	E	主な取組の各事業の中で、通いの場や介護予防の普及啓発などについて説明しており、それらは健康寿命の延伸につながる事業となります。
120	第4章	87	「■施策の方向性」について、6行目～「・・・介護職員の負担軽減のため・・・支援し、介護職員の業務効率化を推進します。」とありますが、「主な取組」の内容に反映されているか、わかりませんでした。今までのページにも反映されていても良かったと思いますが、WEB会議などのオンラインワークの環境整備など、できることはたくさんあるように思いますが、何故、明記しないのでしょうか。	E	「5(1)カ」に反映しております。 WEB会議等については、第8期計画としてだけでなく、市役所全体で推進する内容のため、記載していません。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
121	第4章	87	<p>【介護人材確保施策について】 介護分野での就労が未経験の方々を対象に生活援助研修や入門的研修等が開催されるとのことであるが、介護分野への人材確保がされるよう市民に対し十分に広報されたい。 また、新型コロナウイルス感染症に係る介護施設等への支援について、国や県の対策を注視しながら、現場に必要な支援について引き続き検討、実施されたい。</p>	C	研修の開催にあたっては、広報やホームページ、関係機関等への周知等を行ってまいります。また、新型コロナウイルス感染症に係る介護施設等への支援につきましては、現在、県と連携を図り介護施設等に対し、衛生用品等の配布をしているところですが、引き続き必要な施策について検討してまいります。
122	第4章	87	<p>【介護人材確保施策】 介護人材が不足する中で、介護職員の業務効率化を推進することが大切であり、介護ロボットやICT導入等の取り組みを支援するということが重要である。 コロナ禍において、利用者と利用者家族の面会等が制限されるなど、介護施設と関係機関等との顔の見える関係を築くことが難しくなっていることも考えられることから、迅速にオンライン相談の普及などICT導入を進めていただきたい。</p>	C	介護職員の負担軽減をするためにも、介護ロボットやICT導入は必要不可欠であり、国と県の取り組みに注視しながら、介護施設への情報提供などに努めてまいります。いただいた御意見は今後の参考にさせていただきます。
123	第4章	87, 88	<p>【介護人材確保施策】 介護人材確保施策の「資質の向上」について、細やかな記載を求めたい。初任者研修の補助はあるが、現任者研修や研修後のフォロー支援について検討されたい。</p>	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
124	第4章	88	<p>「No.5(1)イ」について、「【申請件数】」で、令和3年度以降の目標値を増やさなくて良いのでしょうか。</p>	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
125	第4章	88	<p>「No.5(1)ウ」について、「【福祉教育実施学校数】」で、平成30年度以降、全小中学校で実施できていますので、このままだと形骸化するおそれがあります。別の指標を設けるべきだと思いますが、いかがでしょうか。</p>	C	今後とも全小中学校で継続実施していくことを目標としており、それが形骸化につながるとは考えません。別の指標の設定についてのご意見は、今後の参考とさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他(感想、質問等)

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
126	第4章	89	「No.5（1）オ」について、「高齢者施設等で働く外国籍職員が・・・」とありますが、秦野市ではどのくらいいるのでしょうか。	E	計画策定に係る介護人材実態調査を実施しており、回答事業所数は94事業所で、外国人職員の採用人数は28名でした。
127	第4章	89	「No.5（1）オ」について、「また、外国籍市民と・・・国際感覚の醸成を推進します。」とありますが、これについては、本計画に直接関係していないので、記載する必要がないように思いますが、いかがでしょうか。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
128	第4章	89	「No.5（1）カ」について、具体的な数値目標はないのでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
129	第4章	90	「No.5（2）ア」について、業務体制を図で示したらいかがでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
130	第4章	91	利用者や家族が希望する市内施設は満室や各施設の待機者がおり、希望する市内施設の空きを数か月待つ状態がますます増えているように実感しています。各施設の空き状況などから数年後を予測し施設整備を判断しているようですが、今後は団塊の世代の高齢化による施設不足も懸念するところです。計画内に老人保健施設などの施設整備計画をお願いいたします。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
131	第4章	91, 92	【施設整備数について】 第8期計画においては、第7期に引き続き、介護老人福祉施設（特養）の整備は行わず、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスのみ整備するとしたが、特養待機者は未だに多く、入れないという話を聞く。 施設整備の精査に当たっては、実態調査等を行っているということであるが、真に必要な人が入所できるように配慮したものでしていただきたい。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他（感想、質問等）

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
132	第4章	91～	【在宅サービスの提供体制の充実】 コロナ禍における自粛等により、在宅生活を続けている高齢者への支援や、サービス利用者本人および介護者の双方の負担軽減に繋がるようサービスの提供体制の整備を図りたい。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
133	第4章	93	「No.5（2）エ」について、「【相談員の派遣先施設と延派遣人数】」の令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、休止となったのでしょうか。もし、それであれば、その旨を小さい文字でも良いと思うので、表記したらどうでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
134	第4章	93	「No.5（2）オ」について、表について、令和2年4月1日現在にはできないのでしょうか。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
135	第4章	94	「No.5（3）ア」と「No.5（3）イ」について、内容の一文前に不必要な空白があります。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
136	第4章	97	「No.5（4）イ」について、「【実地指導実施件数】」で、令和3年度から令和5年度の目標値が、実績値より小さいですが、どのような理由でしょうか。	E	令和元年10月1日の条例改正において、実地指導の頻度を「2年に1回」から「おおむね指定期間に1回」（5年に1回）に変更したため、実地指導件数が下がりました。これは、厚労省が令和元年5月29日に発出した「介護保険施設等に対する実地指導の標準化・効率化等の運用指針について」の通知を受け、実地指導の効率化を目的とする国の方針に合わせたものです。ただ、苦情や指摘の多い事業所については臨時的に実地指導を実施するなど、柔軟に対応しています。
137	第5章	102	平成30年度～令和2年度について、「介護給付費の推計については、国の社会保障審議会（介護給付費分科会）で介護報酬改定について審議中であるため、空欄としています。」とありますが、いつ頃掲載できるか、示してください。また、文章内の句読点に違和感がありますので、修正をお願いします。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他（感想、質問等）

「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画案」に寄せられた市民からの御意見・提案等一覧

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
138	第5章	108	【第1号被保険者の介護保険料】 高齢者の増加により、介護保険料の値上げは全国的にも言われていることであるが、その根拠について記載が必要である。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
139	その他全般		だれも見やすくするため、数字やアルファベットなどの文体（半角か全角など）を統一するべきである。	A	いただいた御意見を参考に修正しました。
140	その他全般		計画に関する取組などの財源は、担保・確保されていますか。	E	取組の所管課において、秦野市総合計画や個別計画を元に予算の確保を行います。第8期計画を元に担保するというものではありません。
141	その他全般		介護に係る専門用語が多々出てきますので、注釈もしくは五十音順索引を最後につけるなどの工夫をしてほしい。	C	いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。
142	その他全般		【計画全体について】 介護が必要となったときに、どこで、どのような介護を受けたいか。調査結果を踏まえて（計画案22ページ）、在宅介護を希望される高齢者やその希望に添ったサービスの提供体制や見守りネットワーク、或いは介護サービス以外の福祉サービスや民間の社会資源をつなぐなど、介護環境の整備を進めていただきたい。 また、在宅介護を希望されている方に対して、どの位対応出来ているか、統計等を取り確認を求めたい。	C	必要な方に介護保険や福祉サービスなどの支援が行き届くように、引き続きニーズ調査や環境整備・周知等に努めます。

【区分】A…意見等の趣旨等を計画に反映したもの、B…意見等の趣旨等は既に計画に反映されていると考えるもの、C…今後の取組みにおいて参考とさせていただくもの
D…計画に反映できないもの、E…その他（感想、質問等）